



おやま子育て通信

1月号

小山町次世代育成支援連絡協議会 編集：子育て支援センター
TEL：78-0504 FAX：78-0506 平成26年12月15日 No.57

1	木	元旦
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	総合文化会館休館日 子育て支援センター開園 
6	火	
7	水	
8	木	ぺんぎんランド（総合文化会館）
9	金	わくわくランド （駿河小山・足柄・須走幼）
10	土	
11	日	
12	月	成人の日
13	火	総合文化会館休館日 ぺんぎんランド（きたごうこども園）
14	水	ぺんぎんランド（いきど保育園）
15	木	ぺんぎんランド（総合文化会館）
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	総合文化会館休館日
20	火	ぺんぎんランド（すがぬま保育園）
21	水	ぺんぎんランド（すばしり保育園）
22	木	ぺんぎんランド（総合文化会館）
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	総合文化会館休館日
27	火	ぺんぎんランド（きたごうこども園）
28	水	ぺんぎんランド（いきど保育園）
29	木	ぺんぎんランド（総合文化会館）
30	金	
31	土	



子育てママのミニ講座


子育て中のお母さん方に、育児商品へのアイデアや意見をいただき、協力企業の商品開発に生かしていくことで、社会とのつながりを増やしていく取組みです。お子さんと一緒にお気軽に御参加ください。（こども育成課 主催）

- ・日 時 1月20日（火）10：30～11：30
- ・会 場 総合文化会館 児童遊戯室
- ・内 容 講座「子育てママに大豆のチカラを」
- ・定 員 小山町在住親子 20組程度
- ・協力企業 大塚製薬株式会社
- ・申込み 問合せ 1月7日（水）まで
子育て支援センター（きたごうこども園）
電話 78-0504



節分の会

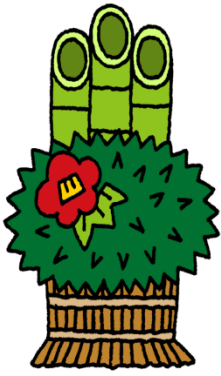
★かざり巻き寿司で、鬼をつくろう！

- ・日 時 2月1日（日）9：30～12：00
- ・会 場 総合文化会館 調理実習室
- ・内 容 かざり巻き寿司作り
- ・講 師 渡邊 かな枝 さん 
- ・対 象 幼児と小学生
（幼児と小学校低学年は保護者同伴）
- ・定 員 18組（参加費 500円）
- ・持ち物 エプロン・三角巾・ふきん・巻きす
持ち帰り用の容器
- ・申込み 問合せ 1月25日（日）まで
生涯学習課 電話 76-5722

開始時間 ★ わくわくランド（幼稚園）、ぺんぎんランド（保育園・こども園） 10：00～11：00

ぺんぎんランド（総合文化会館） 9：30～11：30

さらに詳しいお問合わせは、各園・生涯学習課へ



新年 あけまして おめでとうございます。

2015年が、皆様にとって明るく穏やかな年になりますように！

どのようなお正月をお過ごしになりますか。新年を迎える行事は地域やご家庭によってずいぶん違うものですが、伝統や文化は大切に親から子へつなげていきたいですね。

ペンギんランドは今年も楽しく和やかな場を提供し、子育てのお手伝いをしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



★お正月に関する豆知識

「しめかざり」や「かがみもち」「おせち料理」など、昔から伝わっているお正月ならではの物がたくさんありますが、名前の由来を知っていますか？

『しめかざり』…神様を迎える場所であることを示し、悪いものが入ってこないようにする飾りです。

『かがみもち』…歳神様にお供えするお餅で、昔の鏡の丸い形をかたどったもので、こう呼ばれています。上にのせる橙は家が代々続くようにという願いです。

『おせち料理』…重箱につめて重ねて出されます。「めでたさを かさねる」という意味です。それぞれの料理にも、意味があります。数の子は、卵がたくさんある事から、子どもや孫の数がたくさん増えるように。レンコンは、穴が開いている事から先が見通せるように。海老はその姿から、腰が曲がるほど長生きするという願いが込められています。他のおせち料理も、いろいろな意味があるので、お年寄りに聞いてみましょう。



★家庭でできるかぜ予防法

★「かぜ」と「インフルエンザ」 どう違う？

かぜとインフルエンザの違いは、主にウイルスの種類と症状です。

- かぜ**は、アデノウイルス、ライノウイルス、RSウイルスなどが原因で、微熱、鼻やのどの痛み、くしゃみ、鼻水、などが主な症状です。
- インフルエンザ**は、インフルエンザウイルスが原因で、40℃前後の高熱、悪寒、のどの痛み、せき、鼻水のほか、関節痛や筋肉痛を伴うのが特徴です。



外出後は必ず、うがいとせっけんを使った手洗いを習慣にしましょう。



室温 16～18℃、湿度 60%前後が目安です。特に乾燥には要注意。加湿器などをしょうずに使いましょう。



感染予防にもなりますが、マスクのもっとも大きい効果は、ウイルスをまき散らさないことです。